

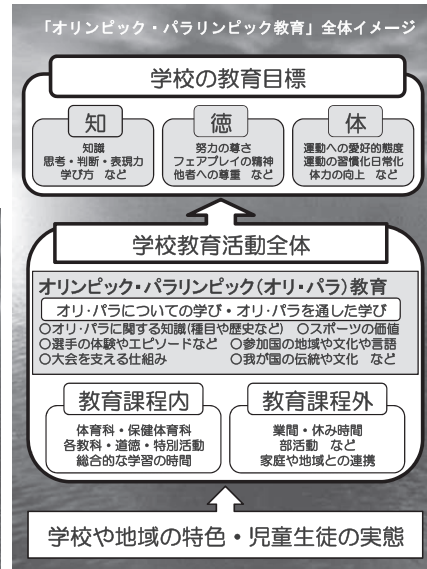
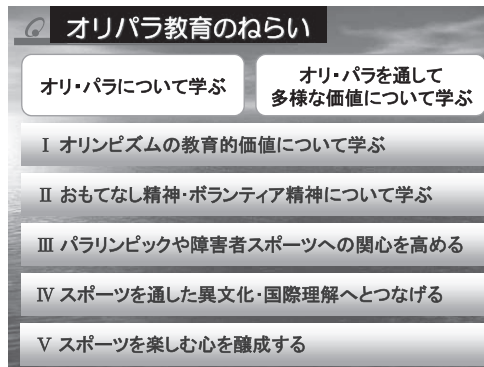
調査研究事業

オリンピック・パラリンピック教育 of 福岡

世界最大のスポーツの祭典であるオリンピック・パラリンピック（以下「オリ・パラ」と言います。）大会が2020年東京で開催されます。スポーツには「する」「みる」「支える」の3つの側面がありますが、我が国でオリ・パラが開催されることは、子どもたちの運動・スポーツに対する関心や意欲の更なる向上を図る大きな好機になると考えられており、学校教育においても大きな期待が寄せられています。

体育研究所では、全国展開に向けて検討が進められている「オリ・パラ教育」に焦点をあて、平成27・28年度の2年間で「オリンピック・パラリンピック教育 of 福岡」をテーマに掲げて調査研究を進めています。「オリ・パラ教育」のねらいには、下図のような「オリ・パラについて学ぶこと」と「オリ・パラを通して多様な価値を学ぶこと」の2つが考えられています。また、この「オリ・パラ教育」は、右図のように教育活動全体でカリキュラムの中に位置付けられるものだと考えられます。

現在、本所では体育科・保健体育科を中心に「オリ・パラ教育」の様々な実践モデルの作成に取り組んでいるところです。今後、更に効果的、実践的な事例の調査研究を進め、報告書にまとめていきたいと考えています。



「体力アップ福岡モデル」（平成27年3月）は、運動（遊び）やスポーツを誘発する工夫を取り入れて、児童生徒の運動意欲を喚起し、運動機会を創出していく取組の実践モデルを提案しています。体力を向上させる児童生徒の育成に役立つ内容が盛りだくさんです。

各学校に昨春に配布していますが、体育研究所のホームページからも簡単にダウンロードできますので、各学校において1校1取組を位置付けた体力向上プランの作成等にぜひ御活用ください。

学校への支援活動

- 体育研究所では、学校を支援するために次のような活動を行っています。お気軽に御相談ください。
- 研修(校内・校外)会等への指導主事の派遣及び講師の紹介
 - 体育コース等設置校(連絡協議会、トレーニング実習等)への支援
 - 体育・スポーツに関する資料、視聴覚教材の収集及び貸出
 - 来所、電話等による相談への対応
 - カリキュラム(教科等)作成に関する支援
 - サークル活動への支援

平成27年度支援回数111回（H28・2月現在）

ホームページの紹介

ホームページでは、主な事業内容を中心に情報を掲載しています。ぜひ御覧ください。

〈調査研究事業〉

過去の調査研究をまとめた研究報告書をダウンロードできます。

〈研修事業〉

専門研修講座、基本研修、長期研修等の内容を紹介しています。

福岡県体育研究所 検索

※スマートフォン・タブレット端末では御覧になれません。



第 7 7 号

福岡県体育研究所

〒812-0852

福岡市博多区東平尾公園
2丁目1-4

電話 (092) 611-0220

FAX (092) 611-1747

E-mail : taiikukenyusho@pref.fukuoka.lg.jp

～ 所長挨拶 ～

近年、子どもの体力の低下や運動する子どもとそうでない子どもとの二極化などが依然として課題となっています。そのような中、本県の子どもの体力は改善傾向にあり、平成27年度の体力テストでは小学校男子が調査開始以来初めて全国平均値を上回り、小学校女子、中学校男女においても全国平均値に迫る大きな伸びがみられました。このような結果が得られたことの要因として、体育科・保健体育科の授業を中核に据え、子どもの運動意欲を喚起し運動の日常化を図る教育活動が展開されてきていることが大きく寄与していることと思われます。

また、2020年には東京オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。このことを追い風に、子どもたちの運動・スポーツに対する関心や意欲の更なる向上を図るとともに、体育・健康教育に関する指導をより一層充実させ、大会後も確固たる「レガシー」を残していくことが重要となります。

このような視座に立ち、現在本所では「オリンピック・パラリンピック教育」に関する調査研究を進めております。また、教職員研修、学校支援等の事業においては、子どもの体力向上をはじめ、学習指導要領改訂に伴う現在の国の動向を見据えた体育・健康教育の充実のため、我が国の体育・健康教育の第一線で御活躍されている著名な方々を講師として招聘して魅力的で実践的な講座を開催し、指導者育成の更なる充実に努めております。

今後も最新の情報の整理、発信に努めるとともに、本県の体育・スポーツ、健康教育の充実に寄与できるよう、所員一同、一層努力してまいりますので、関係各位の御支援・御協力をお願いいたします。

福岡県体育研究所 所長 幸 慎二

短期研修講座

一緒に『体育の授業』を楽しく学びましょう！



楽しい研修の様子（平成27年度）

講師紹介



白旗 和也 先生



佐藤 豊 先生



日野 克博 先生

全国でも著名な豪華講師の方々が勢揃いです。先生方の指導上のどんな悩みでも、懇切丁寧に全て教えていただけます。

☆ 次頁に来年度の詳しい案内を掲載しています。ご覧いただき、是非ご参加ください。

平成28年度専門研修（短期研修）講座のご案内

平成28年度は、体育・スポーツ、健康教育等の専門的知識や技能の習得を図ることを目的とした18の専門研修（短期研修）講座を設定しました。全ての講座において、全国的にも著名な講師陣をお招きして、学習指導要領や現代的な教育課題に対応し実践に役立つ内容を準備しています。特に平成28年度は、「アクティブ・ラーニング」をキーワードに、次期学習指導要領の方向性を学ぶ講座等を設定しております。詳しくは、県教育センターからの募集案内又は体育研究所ホームページを御覧ください。多くの方の御参加をお待ちしています。

対象	講座名	期 日	講 師
幼	運動的な遊び（小可）	7月21日（木）～22日（金）	十文字学園女子大学 准教授 鈴木 康弘
小 特	体づくり運動	7月27日（水）～28日（木）	国 士 館 大 学 教 授 細越 淳二
	体育の授業づくり（個人系）	8月 3日（水）	日本体育大学 教 授 白旗 和也
	体育の授業づくり（集団系）	8月 4日（木）	日本体育大学 教 授 白旗 和也
	ゲーム・ボール運動の授業づくり	8月22日（月）～23日（火）	早 稲 田 大 学 准教授 吉永 武史
小中特	器械運動（高可）	8月 2日（火）	宮 崎 大 学 教 授 三輪 佳見
	やさしい体育の教材づくり（高可）	8月24日（水）	香 川 大 学 准教授 米村 耕平
中高特	体づくり運動	10月12日（水）	日本体育大学 教 授 近藤 智靖
	ボール運動・球技	10月26日（水）～27日（木）	群 馬 大 学 准教授 鬼澤 陽子
小 中 高 特	ダンス	6月16日（木）～17日（金）	日本女子体育大学 教 授 宮本 乙女
	体育的学力を育む授業づくり	7月25日（月）～26日（火）	愛 媛 大 学 准教授 日野 克博
	保健の学習指導	8月24日（水）	茨 城 大 学 准教授 上地 勝
	特別支援の視点に立った体育の学習	8月 8日（月）	東 海 大 学 准教授 内田 匡輔
	健康教育	10月13日（木）	聖心女子大学 教 授 植田 誠治
	体力向上の方策	8月 1日（月）	岩 手 大 学 准教授 清水 将
	アクティブ・ラーニング入門	10月 5日（水）	鹿屋体育大学 教 授 佐藤 豊
養	養護教諭の資質向上	9月29日（木）	国際医療福祉大学 教 授 荒木田美香子
教職員一般	トレーニング指導者研修会	10月18日（火）	独立行政法人国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部 ハイパフォーマンスユニット 田村 尚之

専門研修（断続研修）講座

■保健体育研修講座（12日間）

外部講師を招聘し、体育科・保健体育科の小・中・高・特別支援学校の異校種での12年間の系統性を考えた授業づくりで課題研究を行い、大変有意義なものになりました。

糸島市立福吉小学校	辻 聡一郎	八女市立西中学校	末崎 智宏
久留米市立青木小学校	井口 清隆	福岡県立輝翔館中等教育学校	一木 一文
筑前町立三輪小学校	清武 章彦	福岡県立香椎高等学校	杉野 弘英
筑後市立松原小学校	大谷 由美	福岡県立鞍手竜徳高等学校	河野 旭
嘉麻市立碓井小学校	中尾 舞	福岡県立筑後特別支援学校	竹森 良子



■養護教諭研修講座（12日間）

健康課題に関する知識や理解を深めるとともに、組織的・計画的に保健教育・保健管理を行うための方策を講義・演習・実技を通して学びました。

また、課題研究にも取り組み、実践を振り返り、深める機会となりました。

宗像市立玄海小学校	仰木 千恵	福岡市立春吉中学校	河塚 揚子
宮若市立若宮小学校	梅田 由美子	福岡県立八女高等学校	井手 紀美
大牟田市立駿馬南小学校	今岡 ゆみ	福岡県立特別支援学校「北九州高等学園」	
		北岡 嘉代	



長期派遣研修

平成27年度の長期派遣研修は、小学校においては、本県の体育・スポーツに関する喫緊の課題に対応するための新機軸として、研究のスタイルを刷新し、調査研究型で研究を進めてきました。子どもの体力向上に学校全体で取り組むためのひとつの方向性を示すことができればという願いを持って取り組みました。

中学校においては、現行の学習指導要領を重視しつつも、次期改訂に向けて提起されたアクティブ・ラーニングの考え方をもとに、保健体育科のよりよい授業改善に通じることを目指して、2つの領域の授業づくりに取り組みました。

高等学校においては、小学校から12年間の教育課程の最終段階の生徒たちが、卒業後も自ら継続してスポーツに取り組むことができるように、生徒自らが課題意識を持ち続けて運動に取り組むことができる球技の授業づくりに取り組みました。

研究の成果については、2月19日（金）に行われた「福岡県体育・スポーツ研修報告会」で報告しました。

■ 小学校

子どもの体力向上を図る組織的な取組に関する一考察

大野城市立御笠の森小学校 教諭 新田 聖

■ 中学校

運動の課題を解決する生徒を育てる保健体育科学学習指導
～アクティブ・ラーニングの視点を生かした授業づくりを通して～

大牟田市立甘木中学校 教諭 井手本隆博

■ 高等学校

球技の特性や魅力を味わう生徒を育む保健体育科学学習指導
～生徒の課題意識がつながる単元づくりを通して～

福岡県立小倉南高等学校 教諭 藤波 宏幸

研究を進めるに当たっては、思うように進まず悩んだ日もありましたが、多くの方々から励ましの言葉や様々な視点からの御指導をいただき、充実した研修の日々を送ることができました。研究に行き詰まった時には、長期派遣研修員3人でも議論をしました。そうすることで、お互いの研究の主張点に気付いたり、研究内容を深めたりすることができました。振り返ってみると、3人でよく話していたのは、次の2つのことでした。1つは、12年間の系統についてです。小・中・高それぞれの校種でどんな実践をしていけば、豊かなスポーツライフを実践する子どもに育っていくのかを議論しました。2つは、それぞれの実践で十分に指導ができなかった「運動が苦手な子ども」を運動好きにするためには、どんなことが重要なのかということです。3人ともそのことを第一に考えながら実践を行いました。その結果、体育の授業や授業外の日常活動の中で、自分たちがイメージしていた「運動が苦手な子ども」が楽しそうに運動する姿を目の当たりにすることができました。まだまだ十分な答が出たとは言えませんが、今後も、全ての子どもたちが運動を通して笑顔になることを目指して、実践を積み重ねていきたいと考えています。このような研修の機会を与えてくださり、支えてくださった全ての方々に心から感謝いたします。

平成27年度長期派遣研修員一同

基本研修

本所では、経験年数・職務に応じて教育専門職としての必要不可欠な専門的（体育・保健体育及び養護・学校保健等）な知識・技能等の習得により、教員としての資質を高め、指導力の向上を図ることを目的として、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭の基本研修を行いました。

<小・特別支援学校>

初任者研修	（2日）
10年経験者研修	（1日）



<中・特別支援学校>

初任者研修	（2日）
10年経験者研修	（3日）

<高 等 学 校>

初任者研修	（9日）
2年経過研修	（1日）
5年経過研修	（2日）
10年経験者研修	（3日）



<養 護 教 諭>

初任者研修	（7日）
2年経過研修	（1日）
5年経過研修	（5日）
10年経験者研修	（3日）